

小池 未来
高等司法研究科・准教授

【研究】

昨年度に開催された国際私法学会第 137 回大会のシンポジウムにおける研究報告をもとに、短期滞在者等の常居所に関して、EU・ドイツとの比較研究を行い、国際私法年報 27 号において論文を公表した。

研究分担者を務める科研費基盤研究(A)「『国際商事 ADR に関するグローバル原則』の探求」において担当するスイス仲裁法についての研究を継続して行った。

各国の仲裁法・仲裁規則、UNCITRAL モデル法との比較研究に基づき、杉浦保友＝久保田隆編『ウィーン売買条約と仲裁の実務と理論』(中央経済社)第 2 編第 1 章「仲裁」を執筆した(2025 年 9 月刊行)。

英米法との比較研究に基づき、平野温郎＝藤澤尚江＝増田史子編著『ボイラープレート条項の研究』(商事法務)第 II 部第 6 章「準拠法条項・裁判管轄条項」を執筆した(2026 年 2 月刊行)。

【教育】

法学部科目「国際取引法」及び「特別講義(国際商事模擬仲裁1・2)」(法学研究科科目「総合演習(国際商事模擬仲裁1・2)」と同時開講)、法学研究科科目「国際取引法」並びに高等司法研究科科目「国際私法2」及び「国際取引法」を担当した。

「特別講義／総合演習(国際商事模擬仲裁2)」では、今年度のWillem C. Vis国際商事模擬仲裁大会の問題に取り組み、主張書面を完成させた。

【管理運営】

学生支援室員、学習サポート委員会委員、ハラスメント相談室全学相談員として、各種の業務に当たった。

【社会貢献】

国際商取引学会理事・模擬仲裁委員会委員として、第 19 回模擬仲裁日本大会の国際化と開催・運営に尽力した。また、国際私法学会ホームページ委員会委員及び国際法学会エキスパート・コメント委員会委員として、学会業務に携わった。